

何度でも見たいニッポンの女優ヌード

蒼井優、石田ゆり子、門脇麦、菅野美穂、黒木瞳、
斉藤慶子、高岡早紀、田中裕子、葉月里緒奈、樋口可南子、
風吹ジュン、真木よう子、松坂慶子、宮沢りえ **一挙出し**



追憶グラフ 売れっ子作曲家と紅白歌合戦70年史

書店員が選ぶ「官能小説大賞」2020

週刊ポスター

2021 Jan.
1.1/8
特別定価550円

「GORO」の名作グラビア復刻
竹下景子「女子大生ヌード」&浅野温子



剛力彩芽撮り下ろし

……新春ご愛読感謝企画……

冬の旨いもの **プレゼント** 令和3年正月限定 御朱印巡り

年末年始プレミアム合併号

20ページ総力大特集

2021年を幸せに迎えるために

施設紹介員
が厳選した

父、母を入れたい老人ホーム

BEST 40

直撃ワイド
今、どうしてる？

アッキー、黒川検事長、ゴーン、岡田晴恵、伊勢谷友介、小林麻耶ほか17人
令和2年「お騒がせ主人公」の年越し

新春
提言

ものづくり神話を捨てれば日本経済は甦る」出井伸之
（元ソニー会長）

親子で夫婦で兄弟で

年末年始に決めておくこと

50

親子でつくる「遺言書」「財産目録」の注意点

夫婦で確かめる「通帳」「生命保険証書」の管理

兄弟が揉めない「実家の処分」「介護の分担」の取り決め

これが結論!

病院に行かないほうが健康になれる

「コロナで通院を控えた人の7割が「体調悪化せず」という真実
薬をもらっただけ」「検査を受けるだけ」は百害あって一利なしだった

無観客の箱根駅伝裏ガイド「ヤクザと正月」満口敦×鈴木智彦

俺だけが受け継いだ「師・野村克也の金言」

宮本慎也、門田博光、
赤星憲広、山崎武司ほか

今さら聞けない**眞子さまと小室さん「喜ばれぬ結婚」5つの謎**

失脚するのはお前だ、支持率急落、GOTO停止で二階も麻生も顔面蒼白

菅VS安倍「自民大分裂」399人相関図

謹製付録 特大ポスターカレンダー
牌×高宮まり&岡田紗佳



が受けたほうがよいとする検査について、情報を得ておく必要がある。

くどうちあき脳神経外科クリニック院長の工藤千秋医師は頭部MRI/MRA検査を挙げる。「頭部MRIは脳の断面図を映し、脳梗塞を起した血管の詰まりが白い影として現われます。頭部MRAは脳血管を立体的に映し、くも膜下出血の原因となる未破裂脳動脈瘤などを発見できます。脳血管の動脈硬化リスクは加齢とともに増すので、60代以降は年に1度はこれらの検査を受けてほしい」

脳と同様に、命に直結する心臓の検査も大切だ。「50歳から超音波で心臓を観察する心臓/頸部エコー検査を3〜5年に1度受け、心筋梗塞が多くなる60代からは心臓MRI検査を3〜5年に1度受けてみるのもよいでしょう。これら検査に異常がなく、血圧をコントロール

ルできていけば、80歳以降に再検査する必要性は低くなります(谷本医師)にも注意を払いたいです」

「視神経の障害で視野が徐々に狭くなる緑内障は70代以上の10人に1人がかかる病気です。できれば40歳から5年に1度、70歳から2年に1度、眼底カメラ検査を受けてほしい。目の病気が自覚症状が少なく、気づいた時

医療費負担「倍増」に備える「新常識」 大病院に行ったら「医療費破産」へ!

「病院に行かない」ことを考えたい理由は、コロナだけではない。12月15日、政府は75歳以上の後期高齢者の医療費窓口負担を現行の「1割負担」から「2割負担」へ引き上げる方針を閣議決定した。単身世帯なら年収200万円以上が対象となり、約370万人が該当する。

最短で22年10月から始まる予定だ。窓口負担はどれほど増えるのか。医療経済ジャーナリストの室井一辰氏が指摘する。「厚労省の『平成30年度国民医療費の概況』によると、75歳以上の一人当たり年間医療費は男性76万5300円、女性65万1900円で、1割負担

その時、どうする?

12月31日に37.5度の熱が! 「かかりつけ医はすでに休診」

普段なら「風邪」を疑う発熱も、今の時期はコロナ感染の可能性を考えたい。もし、多くの医療機関が休みに入ると、大晦日や元日に熱が出たらどうすればいいのかわからない。ナビタスクリニック川崎・谷本哲也医師の話。「目下、受診者の増加による医療現場の混乱が最大の懸念事項です。年末年始も重症者優先には変わりなく、開いている医療機関も限られるため、37.5度程度の熱なら、様子を見てください」となるのではないかと。その場合、頼りになるのが各都道府県が設ける発熱者のための相談窓口だ。名称は自治体により異なるが、基本的に24時間365日対応している。一年年始に向け回線を増やし対応を強化する」という東京都に聞いた。

「医療機関の時間外に発熱した場合、まずは、かかりつけ医にご相談ください。もし、かかりつけ医が休みの場合は、都内の「発熱相談センター」に連絡をいただき、受け入れ可能な医療機関をご案内することになります(福祉保健局) ただし、紹介された医療機関にいきなり押しかけることは法度だ。「医療機関は発熱者受け入れの時間を決めていないことがある。院内感染防止のためにも、必ず事前の電話予約をお願いしたい(同前) 各自治体の窓口は、他県からの相談を受け付けていないので、あらかじめ居住エリアの相談先を調べておくと安心だ。不安に駆られパニックを起さないよう、冷静な準備と対処が求められる。」

これが結論 病院に行かないほうが健康になれる!

2022年医療費激増! 「紹介状なし」で1年間大病院に通うと……

| | |
|---|---|
| 紹介状あり 診療情報提供料 診療所での初診時250円(1割負担) 大病院での2回目以降受診時は0円 計250円 | 紹介状なし 選定療養費 初診時7000円 2回目以降は毎回3000円 計4万円 |
|---|---|

年間4万円の負担増。さらに窓口負担は1割から2割へ

※診療・検査などにかかる費用は別途

なら男性約7万6000円、女性約6万5000円です。2割負担になると金額が倍になり、男性がひと月約6400円、女性約5400円の負担増になります。この決定に大きなショックを受けたのは都内在住の77歳男性だ。「医療費がいきなり2倍になると聞いて衝撃を受けました。現役時代は自営業で、いまはわずかな蓄えと国民年金のみで細々と暮らしています。体力も落ちてこれからはますます病院のお世話になることが増えるのに、食べていけないか不安で仕方ありません」

この男性のような後期高齢者にさらに追い打ちをかけるのが、「紹介状なし」の負担増だ。現在、200床以上の大病院を紹介状なしで受診すると初診で5000円以上、再診は2500円以上の「選定療養費」を徴収される。政府はこ

かかりつけ医を使い倒す

「特に再診は受診するごとに毎回3000円かかり続け、紹介状なしで大病院を受診し続けられ、かつてない負担のしかかります(室井氏)」

「安心です。クリニックは大病院よりスタッフや患者が少なく、コロナに感染するリスクも軽減される。専門的な検査や治療が必要になればかかりつけ医が大病院への紹介状を書いてくれるので、

「紹介状なし」の追加費用を払う必要はありません。かかりつけ医には、「人脈メリット」もある。「実は現在、大病院の中には、コロナを隠し持つ患者の受診を怖れて、新規の重病患者を積極的に受け入れていないところがあります。しかしその場合でも、かかりつけ医の医療コネクションがあれば、診療や検査、手術などを受け付けてもらえるケースが多い(上医師)」

コロナ感染リスクと医療費負担激増に備えて、一人ひとりが本当に賢い患者になることを目指さなくてはならない。

シニアの悩みを解決するグッズ・サプリ。塗物情報満載のカタログをお送りします!

無料カタログ

進呈

限定300名様

最新版をお届け!

こんな方におすすめ

- 最近元気がない
- 夫婦円満でいたい
- いつまでも若々しくありたい

無料カタログのご請求は、ハガキ・お電話・FAX・スマホでお申し込み下さい。無料でお送りさせていただきます。

ネット会員募集

カタログがネットでご覧になれる ネット会員のご登録はこちら

jyu@tofukai.jp

カタログのご請求とネット会員登録はカンタン便利なスマホからどうぞ!

電話の注文【通話料無料】
受付日時: 22時 / 年中無休
0120-443-700

FAXの注文
(年中無休 / 24時間受付)
03-5829-8072

お問い合わせ 03-5829-8200
受付 9:30~18:00 / 平日のみ

株式会社 東風の会
D-3911-58係
〒101-0031 東京都千代田区東神田3-2-4-807
<http://tofukai.jp>

当社は個人情報保護法を遵守します。(第三者への提供は致しません)